

マンデストロビン水和剤 スクレアフロアブル	取扱メーカー： 協友アグリ，住友化学 原体メーカー： 住友化学
成分： マンデストロビン〔ストロビルリン系〕……………40.0%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 菌核病に優れた効果を示す，ストロビルリン系の殺菌剤である。
- ももでは，果実肥大期から収穫までの灰星病とホモブシス腐敗病の同時防除基幹剤として活用できる。
- 豆類の重要病害である菌核病に高い防除効果を示す。
- 収穫前日まで使用可能である（但し，茶は摘採3日前）。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈なし〉

- 黒星病に対しては，開花期の散布が有効である。また，DMI剤との体系処理により黒星病への防除効果が安定する。

〈もも〉

- 灰星病とホモブシス腐敗病の双方に高い防除効果を示すことから，生育後期の効率的な防除が可能。

〈キャベツ，レタス〉

- 菌核病に対して，結球始期前からの予防散布が効果的である。

【薬効・薬害等の注意】……………

- ぶどうに使用する場合，果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意する。
- なしに使用する場合，花弁の焼け，葉への褐点発生等の薬害を生じるおそれがあるので，次の点に注意する。
 - 開花期に使用する場合は，展着剤を加用しない。
 - 他の薬剤を混用する場合や展着剤を加用する場合は，事前に薬害の有無を十分に確認してから使用する。
 - 気象条件等により散布時や散布後に湿度が高く，薬液が長時間乾かなかった場合は，薬害が生じやすいので，使用しない。
 - 施設栽培，トンネル栽培，雨除け栽培などの多湿になりやすい条件下では薬液が乾きにくいおそれがあるため，注意して使用する。
- 共通注意事項の8，適用作物群に関する注意事項を参照。

【適用と使用法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	マンデストロピンを含 む農薬の総使用回数
りんご	黒星病 輪紋病	2000～ 3000倍	200～ 700 ℓ	前日まで	3回以内	散布	3回以内
	うどんこ病 モニリア病	3000倍					
ぶどう	晩腐病 黒とう病 うどんこ病	2000～ 3000倍					
	幼果菌核病	2000倍					
おうとう	灰星病	2000～ 3000倍					
	灰星病 黒星病 ホモブシス腐敗病						
も ネクタリン	落葉病 うどんこ病 炭疽病						
	黒星病 うどんこ病 輪紋病						
小粒核果類	黒星病						
トマト	菌核病 斑点病						
ミニトマト	菌核病 褐紋病 フザリウム立枯病						
なす	菌核病 炭疽病						
きゅうり	菌核病 炭疽病						
キャベツ はくさい レタス 非結球レタス メロン すいか	菌核病						
非結球あぶらな科葉菜類 しゅんぎく	炭疽病						
豆類 (種実,但し,だいず, らっかせいを除く)	菌核病 炭疽病						
豆類 (未成熟)	灰色かび病						
だいず	紫斑病 菌核病 炭疽病 灰色かび病						
	輪斑病 新梢枯死症 炭疽病 もち病 網もち病						
茶			200～ 400 ℓ	摘採 3日前まで			